

# 常任委員会の動き

この春の市議会議員選挙から議員定数は、16人となりました。常任委員会の定数なども含め、十分な議論ができる体制を整えるための新しい常任委員会としてスタートしました。「第1常任委員会(人・まちづくり委員会)」と「第2常任委員会(くらし・健康づくり委員会)」の活動を紹介します。

## 第1常任委員会

《5月23日開催》報告及び審議事項

### 【総務部】

平成18年度の市税外収納状況について  
留萌市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について  
留萌市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例制定について

### 【産業建設部】

平成19年度の主要政策について  
留萌港開発株式会社の平成18年度決算に関する書類及び平成19年度事業計画に関する書類の提出  
留萌市漁港背後用地管理条例の一部を改正する条例制定について

### 【教育委員会】

留萌市立学校図書館ボランティアについて  
平成18年度の学校評価システムの実施状況、学校評議員会の実施概要、全国学力・学習状況の実施  
平成19年度社会教育ビジョンについて  
るもい文化遺産の再発見について  
図書館業務システムの導入について  
学校給食への地場農産物の使用について

市内全小中学校を対象に地場農産物のきゅうり、ミニトマト、ピーマンを使用

### 【政策経営室】

地方公共団体の財政の健全化に関する法律について  
留萌地域の広域連携について  
平成18年度留萌市土地開発公社の決算及び平成19年度事業計画について

### 視察 「鹿侵入防止柵設置箇所を視察」



鹿侵入防止柵の設置

近年、鹿の目撃件数が増え、それに伴い水稲等への被害が著しく増加傾向にあります。そこで、有効な対策として、昨年からは牧場の電気柵(電牧)を設置しています。鹿の食害の激しい地域を電気柵で囲い込み鹿の侵入を防ごうというものです。設置地区：藤山、美沢、樽真布、中幌、峠下、マサリベツ地区

視察中にも鹿が出ました！

## 第2常任委員会

《5月22日開催》報告及び審議事項

### 【市立病院】

留萌市立病院平成18年度の患者数、病院事業会計決算の概要について  
平成19年度診療体制について  
留萌市立病院に対する提訴(損害賠償請求事件)  
留萌市立病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について

### 【健康福祉部】

平成18年度社会福祉課事業報告について  
児童家庭課事業報告について  
男女平等参画登用率について

留萌市の審議会・委員会への女性の登用率は、33%で全道35市部の中で1位！

青少年関係団体等連絡会議について  
児童虐待の経過報告について  
平成18年度保険医療課事業報告について  
平成18年度介護支援課事業報告について

### 【市民生活部】

留萌市重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部改正について  
ごみ手数料の改正について

12月からの値上げを目途に7月からの住民説明会を経て9月議会での条例改正を予定。

平成19年度第1回留萌市環境審議会の開催結果  
一般廃棄物処理施設等整備検討委員会の設置  
第8次留萌市交通安全計画の策定について

北海道交通安全計画に基づき、平成18年度から平成22年度までの5年間の交通安全に関する政策大綱ができました。留萌市交通安全推進協議会ははじめ、市内の小・中学校、高校などに配布したほか、留萌市ホームページで紹介しています。



# こんにちは 議会です



## もくじ

- P4 第2回定例会議決事項 質問の仕方が変わります
- P5 常任委員会の動き
- P6~7 紙上政策談
- P8~9 平成18年度 政務調査費使途報告
- P10 第2回定例会一般質問項目
- P11 広域行政組合議会 森林・林業・林産業活性化について 用語解説、議会傍聴ほか

第2回定例会(6月5日から6月14日)で可決されました議案5件、諮問1件、報告2件、意見書案4件の主な内容を紹介します。

## 議案

留萌市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について  
留萌市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例制定について  
留萌市重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について  
留萌市漁港背後用地管理条例の一部を改正する条例制定について  
留萌市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について  
沖見診療所開設に伴う条例改正です。



「沖見診療所」とは、沖見町2丁目の旧医師住宅を活用して開設(7月予定)される在宅療養支援診療所で、訪問看護、往診など手厚い医療サービスの提供と同時に収益増を図るもので、経営改革を目指すアクションプランの取り組みの一つです。ここでは、月2回の在宅訪問診療や訪問介護、介護福祉施設等との医療連携などが中心。開設後の増収額は、最大で3千万円(実益約2千万)を見込んでいるようですが、診療所の果たす役割を分かりやすく住民に周知していただけるよう質問も出されました。

## 諮問

人権擁護委員の推薦について

## 報告

留萌市土地開発公社の平成18年度決算に関する書類及び平成19年度事業計画に関する書類の提出について  
留萌港開発株式会社の平成18年度決算に関する書類及び平成19年度事業計画に関する書類の提出について

## 意見書

新たな「地方公共団体財政健全化法」に関する意見書  
異常気象による災害対策や地球温暖化の強化・拡充を求める意見書  
教育関連三法案の慎重審議を求める意見書  
道路整備に関する意見書

よりわかりやすい議会をめざして  
一般質問 一問一答制  
ただ今検討中！

議会運営委員会では、議会の活性化を図るためのさまざまな議会改革について審議しています。現在、本会議中の一般質問一問一答制の採用について検討中です。

一般質問とは、市政全般に関して議員が質問や提案等をして、市長はじめ関係部長の説明を求めるものですが、これまでは多数の項目を一度に質問し、それに対する答弁も、一度に複数の項目について行っていましたので、答弁がわかりづらいこともありました。

一問一答制では、あらかじめ議長に提出している一般質問通告書に従い、与えられた質問時間内であれば、何回でも質問できるようになります。

(9月の第3回定例会からの実施予定)

# 紙上政策談

## No.1

若者の流出、人口減、高齢化、商店街の疲弊、財政危機…私達の生活をとりまくさまざまな課題が山積している中、留萌市議会議員としての役割が大きくなっています。そこで、紙上政策談として、財政危機を乗り越えるための方策。若者の流出に歯止めをかける方策をテーマに各議員の考え方について述べていただきます。



江澤 順次 議員【萌政会】

「消費拡大と企業所得倍増」

今、留萌は若者ばかりでなく中高年者も流出している。それは、働く場がないからです。端的に言うと企業の誘致によって雇用を拡大し流出を防ぐことも可能であるが、当市の場合はその環境にない。ではどうすれば良いか、まず第一は経済の原則である消費拡大と企業の所得倍増政策です。第二は公務員退職者の再雇用の禁止です。難しい問題であるが、市民全体が考えることである。



珍田 亮子 議員【萌政会】

「市税増と経費削減」

所得税の税源移譲と特別減税の廃止により多少の市税増が期待されるが、更なる市税収入の確保、徴収率の向上、受益者負担の見直しなどによる増収効果を図り、歳入確保をする。歳出削減としては、人件費の抑制、管理的経費等の徹底した削減、投資的経費の抑制、施設の統廃合、公債費・債務負担行為の抑制などに取り組み経費削減効果を示す。



小野 敏雄 議員【萌芽クラブ】

「財政破綻したつもりで見直そう」

平成17年度から始めた留萌市財政再建計画の実施状況の検証とその結果を徹底的に情報公開すること。その情報を市民と行政が共有して次のステップへ進むことが必要である。その進捗状況を市職員全員が意識し、議会を含めた市民がチェックしていかなければならない。効果がない場合は財政破綻したつもりで計画の見直しをする。



富田 直樹 議員【萌芽クラブ】

「前倒しで健全化を」

夕張破綻の要因を踏まえると、行政の活性・情報公開・住民の意識改革が留萌においても必要に思う。特に財政面では、一般会計と各(赤字)会計との連結決算が導入されることを仮定し、今から前倒しの健全化を急ぐべきである。いずれにせよ、マチの存続に相当する住民負担は否めなく、理解を得るためにも官民が同じ感覚やモノサシを持たなくてはならない。



原田 丈三 議員【萌政会】

「小さな市役所」

明治維新、戦後改革に次ぐ「第三の改革」と言われる本格的な地方分権時代を迎えて、真の地方自治を目指すためにも市民と行政のパートナーシップに基づいた「協働のまちづくり」が求められています。「第2の夕張」にならないための処方箋は「歳入の削減と歳入の増加」に尽きるわけですが、その一環として私は「小さな市役所」を提唱します。行政サービスの徹底した民間開放・民間委託です。行政コストの削減と民間活力の有効活用がねらいです。



原田 昌男 議員【萌政会】

「今こそ、市民・行政・議会が一体となって財政危機をのり越える」

現在、留萌市では人口減少や高齢化が急速に進んでいる中、留萌市の財政状況は厳しい状況にありますが、こうした状況においても、活力があり、安全・安心な暮らしができる留萌市とするために、市民・行政・議会が一体となって、情報を共有し意見を交わし、地域のことは地域が決めることが大切であると考えます。



野呂 照幸 議員【民主・市民連合】

「行政機能の充実と議会の透明性」

今、留萌市の財政危機をのり越えるためには、危機的状況に陥っている収支の情報公開、市民の目線を見た政策の策定、市民生活の基盤確保、市民サービスの低下にならない行政機能の充実などを行なう。また、政策評価の判断基準の透明性に向けた議会機能の強化、議員と市民が自由に意見交換する議会報告会の設置の検討など。



坂本 守正 議員【民主・市民連合】

「若者の流出に歯止めをかける」

地元で就職がないことが高齢化と地域の停滞の原因で、今住んでいる人々の暮らしの充実を図り、地域に産業を興し、既存産業を発展させ働く場を創り、若者の定着に向けパート、派遣など就労形態の改善や勤労観・職業観の教育や勤労者として義務・権利教育の必要性、地域には夢、人には目標、企業には利潤を与え活性化を図る。



村山 ゆかり 議員【萌芽クラブ】

「自助・共助・公助の連携を図る」

30年前の市役所を振り返り、市民が必要とする最小限度の行政サービスに立ち戻り、民間が担える事業については、民間に任せること。市民は、自立し自分自身で行い(自助)、自分だけでは解決や実行困難なことは、NPOや民間事業者等が力を合わせて(共助)、個人や地域の力では解決できないことについて、行政が責任をもって推進する(公助)の効率的な連携を目指したい。



松本 衆司 議員【萌芽クラブ】

「行政サービスの見直し」

まず皆が(議員、市職員、市民)留萌市の現状についての共通認識を持たなければならない。その上で、行政サービスについても、必要なものと、それを超えている部分を精査して、提供することが大切である。歳出を削減するためには、サービス量を減らす・市民自らが対応するなど、協働についても考えなければならない。



天谷 孝行 議員【留萌公明党】

「市民の理解と協力」

『第2の夕張になってはいけない』という思いが、留萌市民の中に鮮明になっているように思われます。財政再建のためには「行財政改革の推進」がこれまで以上に必要だと思っています。小さな市役所の推進、議会改革の推進、各種事業の見直しなど市理事者・職員・議会・市民が一丸となった取り組みが大事です。『自主再建』の実現には市民の『理解と協力』が不可欠です。



村上 均 議員【留萌公明党】

「更なる人件費、経費削減を」

市の財政は危機的状況にあるその中で、行財政改革を更に推進するため意識改革の徹底をはかり、歳入強化と歳入の抑制を進め(更なる人件費や経費の削減、事業の見直しなど)、第2の夕張にならないためにはこれまで以上に厳しく徹底した検証を行ない、改革を進めることが大事だと考えます。



菅原 千鶴子 議員【民主・市民連合】

「市民ニーズに合致した政策を」

夕張市破綻の原因に都市基盤にそぐわない市民ニーズとかけ離れたインフラ整備があげられる。留萌市も今、問題になっているのはインフラ整備の起債償還によるものが大きい。整備されたものすべてが市民ニーズと合致していたかの検証が必要だが、何よりも急がれるのが歳出削減である。交付税の減額を嘆くのは責任回避であり、理事者・議員がやるべきことではない。



坂本 茂 議員【無会派・共産党】

「若者の働く場所をつくらう」

なんと言っても若者の働く場所をつくることです。留萌の条件を活かした農業・漁業・水産加工業の振興に抜本的に力を注ぎ、若者が就労し、暮らし・子育ても出来る状況をつくる。さらに、特別養護老人ホームの増設はじめ、医療・福祉・教育の充実を中心としたまちづくりを進める。



野崎 良夫 議員【民主・市民連合】

「身の丈にあった行財政運営」

05年度に策定した「財政再建計画」を着実に実行すること(状況の変化があれば、直ちに対応した計画に変更し、身の丈にあった行財政運営を進めること) 医師、看護師の定着と充足については、市民の「いのちと健康」を守ることから、病院経営からして、留萌市の最重要政策に位置付けをすること。



道 重幸 議員【萌芽クラブ】

「企業誘致課の設置を」

人口の流失は地域経済のみならず、自治体本来の活力を弱体化させる。雇用の場の確保無くして人口の流失は止まらない。方策：積極的に企業誘致に取り組むこと、庁内に企業誘致課を設置し、全国の企業の動向を探り的確な情報を得ること(今年度旭川市設置) 中小企業振興条例を見直し地元企業の育成支援を積極的に実施すること。

# 紙上政策談

## 市民を代表する16人の考え方

(議席順に掲載しています)

# 平成18年度 政務調査費の使途報告

収入		支出	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
交付金	200,000	政務調査費交付金	
負担金	5,402	会派負担金	
雑収入		図書・資料費	5,960
繰越金		調査・広報費	189,478
計	205,402	事務費	9,964
計	205,402	計	205,402

(収入額) - (支出額) = 差引残額  
205,402円 - 205,402円 = 0円  
(補助金) - (対象経費) = プラスの場合返還  
200,000円 - 205,402円 = 5,402円

研修・視察調査費内訳

科目	経費(円)	参加者数	日程	視察地	調査事項
調査・広報費	189,478	2名	H18.5.24~5.27	新潟県長岡市	・中越大地震被災状況と復興状況 ・防災行政全般 ・自主防災組織の取り組み
				新潟県新潟市 国土交通省北陸技術事務所 (新潟防災センター)	・防災センターの役割と活動
				青森県鶴田町	・食生活状況調査 ・朝ごはん条例制定 ・食育に関する町民の取り組み

図書・資料費内訳

科目	経費(円)	説明
図書・資料費	5,960	・新日本法規出版追録代

## 留萌公明党(2名)

天谷 孝行  
村上 均



## 無会派

坂本 茂



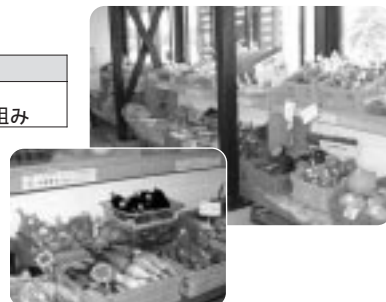
## 無会派

沢出 隆



## 萌芽クラブ(3名)

村山ゆかり  
道 重幸  
松本 衆司



収入		支出	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
交付金	700,000	政務調査費交付金	
負担金		研修・会議費	105,480
雑収入	129	図書・資料費	15,750
繰越金		調査・広報費	523,670
計	700,129	事務費	1,365
計	700,129	計	646,265

(収入額) - (支出額) = 差引残額  
700,129円 - 646,265円 = 53,864円  
(補助金) - (対象経費) = プラスの場合返還  
700,000円 - 646,265円 = 53,735円(市に返還)

研修・視察調査費内訳

科目	経費(円)	参加者数	日程	視察地	調査事項
研修・会議費	79,280	1名	H18.10.2~10.4	北海道登別市 登別グランドホテル	・第54回北海道女性議員協議会総会
				東京都千代田区 都道府県会館	・地方議員のための自治体病院経営セミナー
調査・広報費	523,670	6名	H18.10.11~10.14	香川県さぬき市	・バランスシート及び行政コスト計算書 ・コミュニティバス
				香川県高松市	・高松丸亀町商店街活性化事業
				香川県丸亀市	・自治基本条例 ・タウンミーティング「市長と語る会」

図書・資料費内訳

科目	経費(円)	説明
図書・資料費	15,750	・日本教育新聞購読料

## 萌政会(7名)

原田 昌男・中村 才蔵  
樋口 隆・珍田 亮子  
近藤 明美・原田 丈三  
江澤 順次



収入		支出	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
交付金	100,000	政務調査費交付金	
負担金	16,534	自己負担金	
雑収入	6	預金利息	
繰越金		調査・広報費	116,540
計	116,540	事務費	
計	116,540	計	116,540

(収入額) - (支出額) = 差引残額  
116,540円 - 116,540円 = 0円  
(補助金) - (対象経費) = プラスの場合返還  
100,000円 - 116,540円 = 16,540円

研修・視察調査費内訳

科目	経費(円)	参加者数	日程	視察地	調査事項
調査・広報費	116,540	1名	H18.10.22~10.27	香川県坂出市 坂出市立病院	・市立病院の経営健全化への取り組み
				京都府伊根町	・伊根町の水産施策 ・魚の産直活動の事態
				富山県魚津市	・米騒動発祥とその背景

収入		支出	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
交付金	100,000	政務調査費交付金	
負担金	19,579	自己負担金	
雑収入		図書・資料費	77,199
繰越金		調査・広報費	42,380
計	119,579	事務費	
計	119,579	計	119,579

(収入額) - (支出額) = 差引残額  
119,579円 - 119,579円 = 0円  
(補助金) - (対象経費) = プラスの場合返還  
100,000円 - 119,579円 = 19,579円

研修・視察調査費内訳

科目	経費(円)	参加者数	日程	視察地	調査事項
調査・広報費	42,380	1名	H18.5.14~5.17	北海道函館市	・合併後の課題
				青森県青森市	・新町商店街

図書・資料費内訳

科目	経費(円)	説明
図書・資料費	77,199	・変化する社会の不平等 ・地域経済と福祉 外39件

収入		支出	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
交付金	200,000	政務調査費交付金	
負担金	522	会派負担金	
雑収入	2	預金利息	
繰越金		調査・広報費	104,769
計	200,524	事務費	
計	200,524	計	192,855

(収入額) - (支出額) = 差引残額  
200,524円 - 192,855円 = 7,669円  
(補助金) - (対象経費) = プラスの場合返還  
200,000円 - 192,333円 = 7,667円(市に返還)

研修・視察調査費内訳

科目	経費(円)	参加者数	日程	視察地	調査事項
研修・会議費	55,270	1名	H18.9.7~9.8	東京都千代田区 中央大学駿河台記念館	・自治総研セミナー
				札幌市中央区 札幌パークホテル	・分権改革・道州制シンポジウム
調査・広報費	45,252	1名	H18.9.26~9.29	青森県田舎館村	・田んぼアート
				青森県青森市	・あおひらクリーンセンター
調査・広報費	59,517	1名	H19.3.27~3.30	北海道上川支庁	・上川支庁管内の広域連合
				上川支庁管内町村会	・上川中部8町広域連合
				東川町	・大雪地区広域連合
				東神楽町	・広域連合調査
				歌志内市	・行財政改革の取り組み
				赤平市	・財政健全化計画 ・休廃止統合公共施設

図書・資料費内訳

科目	経費(円)	説明
図書・資料費	24,716	・生活経済政策誌 ・介護保険制度解説編他 ・北海道自治研究 ほか

## 市民・民主ネットワーク(2名)

高橋 信郎  
工藤 葵



収入		支出	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
交付金	300,000	政務調査費交付金	
負担金		研修・会議費	
雑収入	18	図書・資料費	72,815
繰越金		調査・広報費	227,750
計	300,018	事務費	
計	300,018	計	300,565

(収入額) - (支出額) = 差引残額  
300,018円 - 45,829円 = 254,189円  
(補助金) - (対象経費) = プラスの場合返還  
300,000円 - 45,829円 = 254,171円(市に返還)

研修・視察調査費内訳

科目	経費(円)	参加者数	日程	視察地	調査事項
調査・広報費	45,829	3名	H18.8.28~8.29	北海道ニセコ町	・(株)ニセコリゾート観光協会 ・ニセコ町のまちづくりの取り組み

収入		支出	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
交付金	300,000	政務調査費交付金	
負担金	565	会派負担金	
雑収入		図書・資料費	72,815
繰越金		調査・広報費	227,750
計	300,565	事務費	
計	300,565	計	300,565

(収入額) - (支出額) = 差引残額  
300,565円 - 300,565円 = 0円  
(補助金) - (対象経費) = プラスの場合返還  
300,000円 - 300,565円 = 565円

研修・視察調査費内訳

科目	経費(円)	参加者数	日程	視察地	調査事項
調査・広報費	206,530	3名	H18.8.1~8.3	千葉県我孫子市	・補助金交付制度の見直し
				千葉県鎌ヶ谷市	・新鎌ヶ谷駅自由通路広告板 ・市民の森キャンプ場
調査・広報費	21,220	3名	H18.6.24~12.21 (3回)	留萌市内	・広報活動 ・議会活動報告(市政報告)

図書・資料費内訳

科目	経費(円)	説明
図書・資料費	37,815	・労働基準法と就業規則 ・介護保険改定新版 ほか
	11,000	・印刷費用
	24,000	・コピー及び資料作成費用

## 市民連合(3名)

野崎 良夫  
坂本 守正  
菅原千鶴子



# 平成19年度第2回定例会 一般質問の項目の ご紹介いたします

江澤 順次 議員  
(萌政会)

- 1 地方分権と留萌市の施策等について
- (1) 財政再建計画について
- (2) 合併の考え方について
- (3) 道州制の考え方について
- (4) 市民意識について

村山 ゆかり 議員  
(萌芽クラブ)

- 1 財政危機を乗り越えるための努力
- (1) 特別会計への繰出金のバランス
- (2) 事業費削減のための政策の見直し
- (3) 情報公開における住民と行政間の隔差
- 2 ごみ処理と市民負担
  - (1) ごみ手数料の改定の目処
  - (2) ごみ減量化の目標と成果
  - (3) MMC S と将来における課題
- 3 温室効果ガス削減に向けての計画づくり

坂本 守正 議員  
(民主・市民連合)

- 1 通年雇用促進支援事業の取り組みについて
- (1) 市としての具体的な取り組みについて
- (2) 広域的な視点での取り組みについて
- 2 教育関連三法案について
- 3 新たな高校教育に関する指針について
- 4 福祉施設三館の今後のあり方について
- 5 留萌市公契約条例に関する取り組み経過について
- (1) 今日までの取り組み経過について
- (2) 条例制定に向けての課題について
- (3) 条例制定に向けての方向性について

坂本 茂 議員  
(無党派・共産党)

- 1 国民健康保険税を引き下げるために
- (1) 他都市市道、全国と比べた

菅原 千鶴子 議員  
(民主・市民連合)

- 1 これからの公園について
- (1) 船場公園施設使用条例の制定について
- (2) 都市公園の利用と管理について
- (3) 遊具施設と手作り公園について
- 2 雇用について
- (1) 女性の雇用とスキルアップについて
- (2) 留守家庭保育の預かり時間について
- (3) 障害者雇用と委託について
- 3 市役所窓口業務について
- (1) 窓口業務への嘱託職員の配置について
- (2) 他都市の現状と留萌市の課題

松本 衆司 議員  
(萌芽クラブ)

- 1 誇りと満足を目指すみなとまち留萌について
- (1) 働く市役所への組織づくりについて
- (2) 現在の体制
- (3) 能率のよい信頼される市役所づくり
- 2 戦略プログラム：心意気について
- (1) 地域コミュニケーションの育成と支援
- (2) 地域福祉の充実
- (3) 子どもの育成と支援
- 2 特別支援教育について
- (1) 現状と今後
- (2) 今後のゴミ処理問題と値上げ問題
- 3 市役所の機構改革について
- (1) 改革の意図と内容、財政上の問題など市民への説明責任

天谷 孝行 議員  
(留萌公明党)

- 1 地方財政健全化法案に対応する留萌市の現状
- (1) 法案の趣旨をどの様に認識
- (2) 4つの財政指標に於ける留萌市の現状
- (3) 公表の義務化・市民に伝える方策
- (4) 各会計の健全化計画を

野崎 良夫 議員  
(民主・市民連合)

- 1 留萌市庁議等に関する規則について
- (1) 庁議について
- (2) 政策調整会議について
- (3) 部長会議について
- 2 庁舎内の職場配置について
- (1) 執務環境の格差について
- (2) 市民サービスの動線について
- 3 病院事業における地方公営企業法全部適用後について
- (1) 今後の経営展望について
- 4 財政再建計画の推移について
- (1) 歳入削減策について
- (2) 歳入増収策について
- 2 ごみ処理手数料の改定について
- (1) 処理手数料の改定案を示す時期
- (2) 処理コスト削減の方策を示すべき
- (3) 美サイクル館システム維持の課題
- (4) 市民理解を得る情報提供と協議
- 3 選挙費用の予算削減について(提案)
- (1) 市議選予算(一般財源)の公費負担を50%削減

## 留萌市森林・林業・林産業活性化推進議員連盟

地球環境の保全が国際的に叫ばれているなかで、森林の果たす公益的機能の発揮に向けた国民の期待と関心が次第に高まっています。

このような背景から、緑と山の自然環境をしっかりと守り育成するため、地方自治体議員(林活議連)の活動を強め、地域の森林・林業・林産業の振興、国の政策や予算への反映など、幅広い市民の理解と積極的な施策の展開を強める活動を進めています。

### 【平成18年度の事業経過】

- ・第45回市民植樹祭 神居岩公園
- ・留萌林活議連平成18年度総会
- ・植樹祭 アジサイ・礼受牧場
- ・市民育樹祭 神居岩公園
- ・道北議連・政策研究会(旭川)



5月20日 市民植樹祭

## 留萌広域行政組合議会

組合長 高橋定敏 市長  
議長 原田丈三 議員

留萌広域行政組合は、個々の市町村では解決が難しい広域的な地域課題に取り組むため、昭和44年に留萌支庁管内9市町村で設立しました。10億円の基金を設置し、その果実で、観光振興事業や海岸の環境整備事業、クリーンアップ(日本海等)を行っています。議会は、9市町村首長と議会代表議員で構成され、さまざまな審議が行われています。



### 【オロロンライン・湯のまちリレーPR事業】

7年前から取り組まれていた湯のまちリレーは、道内主要施設にチラシを設置し、温泉施設利用客の誘導戦略を展開中。

チラシには、各市町村の特産品や温泉紹介と併せて特典付きクーポン券を付けています。

問い合わせは、留萌広域行政組合(0164-428662)まで

## 議会を傍聴して

国際ソロプチミスト留萌は、働く女性のボランティア奉仕組織で、地域社会や女性と女性の生活を向上させる活動をしています。この度、女性の地位向上委員会として留萌市議会を傍聴させていただきました。これまでも何度か傍聴の機会をいただき、議員の皆様の発言を一生懸命に聞いておりますが、質問時間と答弁時間が長いので、最初の質問の目的が何であったのか理解できなくなることがありました。私たち市民に何を知らせてもらったのか分からず、自分の勉強不足もあるのですが、小・中学生が聞いても分かるような議会であつたらと感じました。



<国際ソロプチミスト留萌会員>

## この言葉の意味は？

最近、気になる行政用語の解説をいたします

『ワンストップサービス (one stop service)』  
一度の手続きで必要とする作業のすべてを終えられるように設計されたサービス。最近では、様々な行政手続きをいっぺんに行なえる「ワンストップ行政サービス」を指す場合が多い。民間では、総合性・包括性を強調することで顧客の困り込みを困る戦略として利用される。

『アダプトプログラム (adopt program)』  
アダプトとは、「養子縁組をする」という意味で、「公共施設養子縁組制度」と訳される。親が子供を大切にするようにマチの世話をする制度で、具体的には道路や公園など公共の場所を掃除するボランティア活動。参加者は募集で決まり、行政はごみの回収や用具提供などのサポートを行なう。  
また、そこで活動している団体名などを記した表示板を『アダプトサイン (adopt sign)』という。

## 議会広報特別委員会から

議会だよりは、1986年(昭和61年)8月の創刊から、議員自らが主体性を持って編集作業を行っております。「議会は、何をやっているのか分からない」という市民の疑問に応えるため、今後の議会報のあり方や紙面の見直しについて協議を重ね、編集作業を進めてきました。

限られた紙面の中で、伝えきれない多くの情報をさまざまな広報活動で補っていただけると考えております。

皆様からのご意見もお待ちしております。よろしくお願いいたします。

委員長 村山ゆかり・副委員長 村上 均  
委員 原田 丈三・野呂 照幸・富田 直樹



市役所3階第1委員会室にて